

○水生生物モニタリング調査結果一覧（相馬市沖L）

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	—	○	—	—	○	—
L-2	○	○	○	○	○	○
L-3	○	○	○	—	○	—

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		日	調査日時		水質					底質		その他	
	緯度	経度		時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
L-1	37.8210°	140.9610°	H28. 10. 24	—	09:45	—	16.9	砂混シルト	7.5Y3/1	なし	—	—		
L-2	37.8155°	140.9763°		08:13	09:22	18.4	17.3	砂	5Y3/2	なし	1.7	>1.7		
L-3	37.8217°	140.9765°		08:30	09:36	18.3	18.2	シルト混砂	7.5Y3/1	なし	1.5	>1.5		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
L-2	37.8155°	140.9763°	H28. 10. 24	08:13	8.1	0.8	2.2	7.8	4750	31.95	1.1	5	1.9	0.0024	0.013	0.00085
L-3	37.8217°	140.9765°		08:30	8.1	0.7	1.8	8.2	4840	31.90	1.1	3	1.8	N.D. (0.0016)	0.011	—

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.L.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
L-1	37.8210°	140.9610°	H28. 10. 24	09:45	7.8	252	30.1	2.8	9.3	2.652	5.0	15.1	47.1	19.9	6.0	6.9	0.39	9.5	11	88	—
L-2	37.8155°	140.9763°		09:22	7.8	271	28.5	2.3	7.0	2.659	0.0	0.3	30.6	61.1	3.8	4.2	0.20	4.8	8.2	49	N.D. (0.14)
L-3	37.8217°	140.9765°		09:36	7.9	280	26.7	1.7	5.0	2.679	0.0	0.3	39.7	53.6	3.0	3.4	0.22	2.0	6.9	40	—

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H28. 10. 24	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.019	—	—	—	7.2	N.D. (2.0)	7.2	—
					藻類・植物	単子葉植物	アマモ	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	—	0.24	—	—	—	1.12	0.33	0.79	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon sp.</i>	スジエビ属	110	0.015	成体	—	—	N.D.	N.D. (2.3)	N.D. (1.9)	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モズガニ	<i>Hemigrapsus sp.</i>	イソガニ属	146	0.25	成体	—	—	4.17	0.57	3.6	—	
					軟体動物	二枚貝	カキ	イボカキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	15	0.46	成体	—	軟体部	0.43	N.D. (0.30)	0.43	—	
					軟体動物	二枚貝	マルスターガイ	マルスターガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	113	0.35	成体	—	軟体部	1.3	N.D. (0.48)	1.3	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	アサメ	<i>Hexagrammos otakii</i>	アイナメ	4	0.13	未成魚	エビ類、カニ類	内臓除去	1.8	N.D. (0.55)	1.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	フサカサゴ	<i>Sebastes cheni</i>	シロメバル	27	0.32	未成魚	エビ類、アミ類	内臓除去	1.4	N.D. (0.33)	1.4	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	クロダイ	1	0.034	未成魚	貝類	内臓除去	1.7	N.D. (0.99)	1.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Tridentiger obscurus</i>	チチブ	21	0.032	未成魚/成魚	—	—	2.4	N.D. (1.1)	2.4	—	
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ピリンゴ															
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	マハゼ															

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。